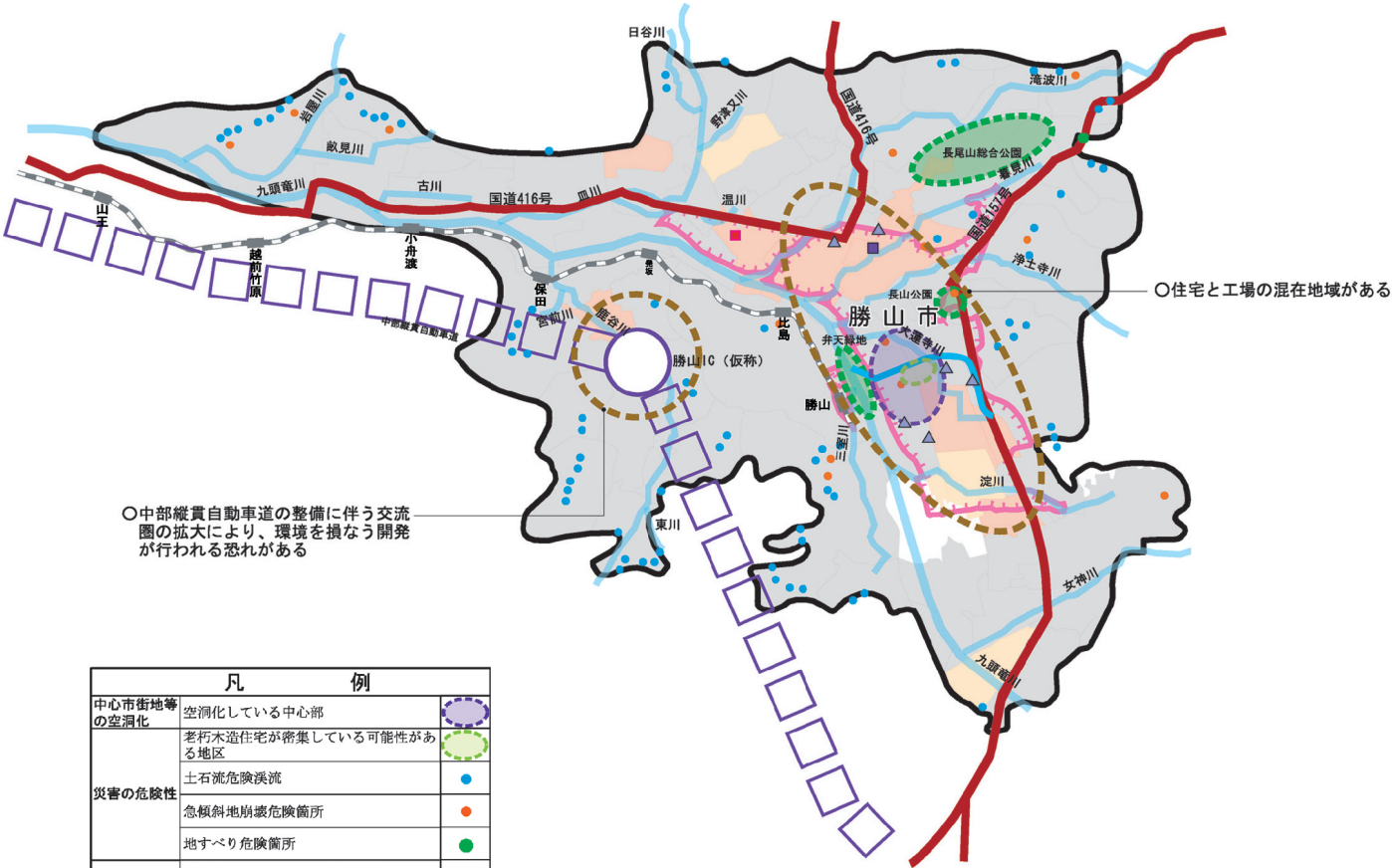


(6) 勝山都市計画区域

都市の現状と課題

本都市計画区域は、弁天桜や七里壁等の優れた自然的環境、白山平泉寺等に点在する歴史的・文化的な遺産などを有しており、繊維産業と農業を基幹産業とする田園都市として発展してきました。現在、中部圏、首都圏および北陸地域を連絡する中部縦貫自動車道の整備が進められており、今後、人口や産業の流出が懸念される中、高規格幹線道路の整備を活かした都市づくりを進めていく必要があります。

- 中心市街地における人口の減少や未利用地の増加等による空洞化の進行
- 中部縦貫自動車道の整備にともなう良好な田園風景を損なう開発の可能性
- 老朽木造住宅等が密集する中心市街地の防災性の向上
- 寺社仏閣や七里壁等が点在する中心市街地における歴史的遺産や文化的遺産を活用した街並みの再生



凡 例		
中心市街地等の空洞化	空洞化している中心部	
	老朽木造住宅が密集している可能性がある地区	
災害の危険性	土石流危険渓流	
	急傾斜地崩壊危険箇所	
	地すべり危険箇所	
必要な都市施設の不足	整備する予定の主要な幹線道路	
	整備する予定の河川	
	整備する予定の大規模な都市公園	
人口の動向	増加している地区	
	10%以上増加	
	0～10%増加	
用途の転換	工業以外の土地利用が進んでいる工業系用途地域	
	工業以外の土地利用の進行が著しい工業系用途地域	
用途地域	郊外に立地する大規模小売店舗（第1種大規模小売店舗）	

※人口の動向はS55からH12にかけての増減率
(資料：住民基本台帳)

勝山都市計画区域マスタープランの内容

都市づくりの基本理念

1 自然・歴史・文化遺産をつなぎ育む都市づくり

「繊維業等の工業や地域の日常生活を支える商業等の産業」、「弁天桜、七里壁、大清水、浄土寺川、白山の遠望、九頭竜川および市街地周辺にひろがる田園等の優れた自然的環境」および「白山平泉寺や中心市街地等に点在している歴史的・文化的な遺産」等の都市の個性を守り・活かしながら、都市機能が向上していくように適切な土地利用や市街地の整備を行っていきます。

期待される効果

- 都市の快適性、利便性および防災性の向上
- 人口や産業の流出の抑制
- 街中の居住回帰
- 都市の賑わいの創出
- 安心して暮らせる魅力ある都市空間の創出



美しい山並みを背景とする弁天桜



平泉寺地区の歴史的な街並み



九頭竜川の鮎釣り

2 持続可能な都市づくり

用途地域外では、都市計画に加え環境・農林・防災に係る土地利用の規制・誘導方策も活用しながら、地域の実情や望ましい地域像を勘案して、都市的土地利用の抑制または制限に努めていくとともに、中心市街地では、都市における人口や商業等の産業の見通しをふまえ、地域が活性化していくように土地を有効に利用し適切に市街地を整備していくことで、まとまりとめりはりのある市街地を形成していきます。

期待される効果

- 公共投資の効率性の向上
- 農地等の里地や里山の自然的環境の保全
- 地域社会の維持
- 防犯性の向上
- 公共サービスに対する住民の負担の軽減
- 高齢者等の日常生活や社会活動の利便性の向上
- 既存の都市施設の遊休化の防止

3 都市間の連携による都市づくり

中部圏や首都圏および県内の各都市との連携を強化する広域交通網を整備し、またえちぜん鉄道勝山永平寺線等の公共交通の利用を促進するとともに、複数の市町村の連携による都市施設の整備や維持、またはその有効利用を推進していきます。

期待される効果

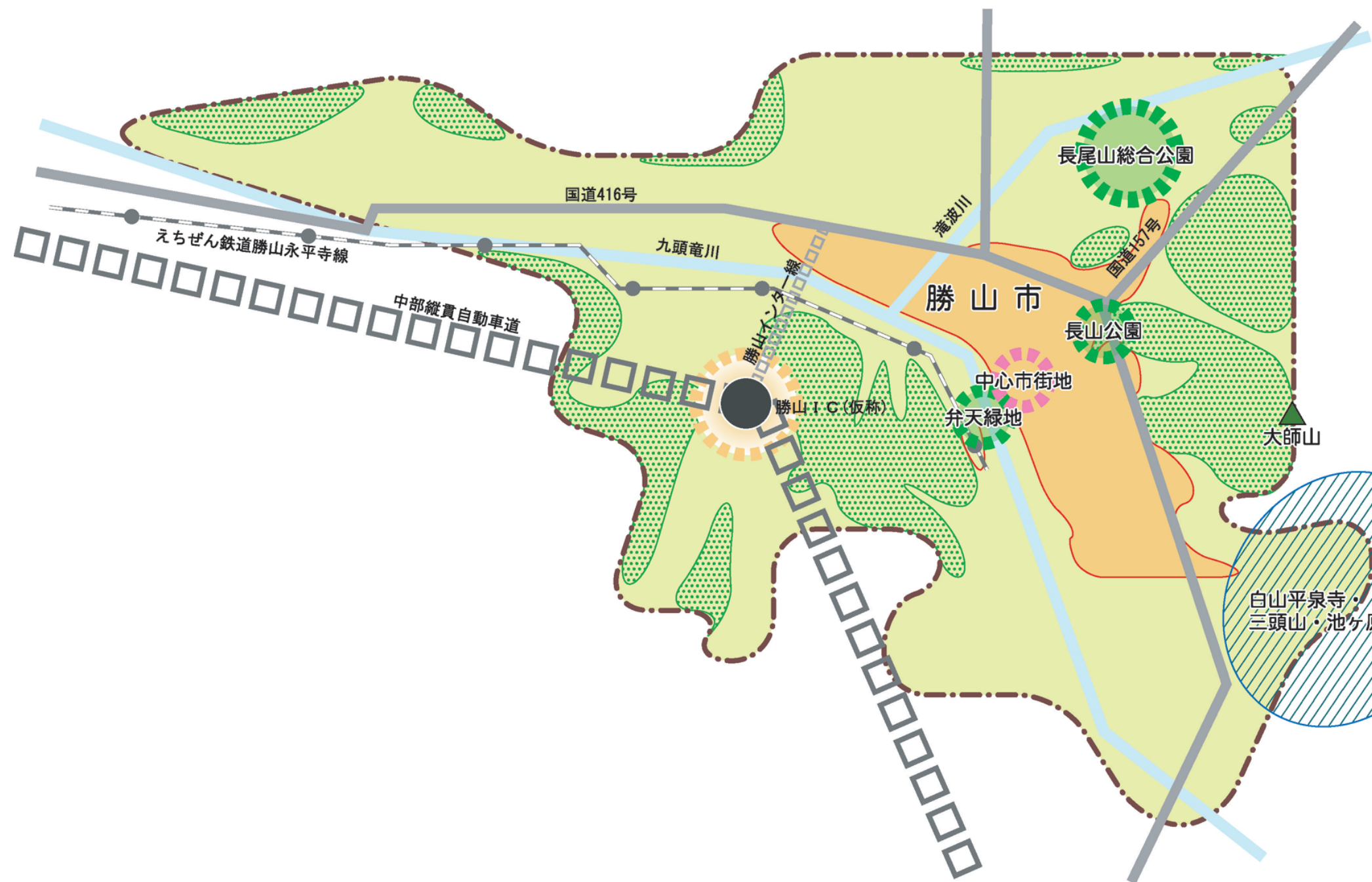
- 交流人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 必要な都市施設の効率的な整備
- 財政負担の軽減

4 活発な首都圏・中部圏交流を促進する都市づくり

中部縦貫自動車道の整備にとともに、観光等の産業の活性化が図れるように都市基盤を整備していくとともに、従来の良好な都市環境を損なうような無秩序な開発の抑制に努めていきます。

期待される効果

- 交流人口や定住人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 産業の活性化



魅力的な地域環境の維持・まとまりのある市街地形成に向けた土地利用

- 計画的に市街化を図る区域**
 - 現在の用途地域の範囲を基本としてまとまりのある市街地形成を図る。
 - 地域の実態・将来像に応じて市街地内の低未利用地の有効利用を図るとともに必要に応じて用途地域の転換を図り、適切な都市的土地利用を促す。
- 保全する山地・里山**
- 保全する田園等**
- すぐれた自然環境や景観を保全する地域**
 - 風致地区や緑地保全地区等の活用を図り積極的に保全する。
- 産業の振興や交流の促進のために必要な拠点を検討する地域**
 - 流通等の産業用地の需要が高くなる地域では、田園風景や農村集落環境の保全に配慮して産業の振興や交流の促進のための拠点形成を検討する。

生活や産業の拠点づくり

- 都市の商業等の主な拠点**
 - 都市の生活の拠点として維持・形成する。

快適で安心な日常生活や機能的・創造的な産業活動を支える都市基盤づくり

- 都市間を結ぶ主要な幹線道路（供用済み）**
 - 都市・地域間の連携・交流を支援する道路網の構築を図り、30分圏構想の達成を目指す。
- 都市間を結ぶ主要な幹線道路（将来整備する予定の路線）**
 - 無秩序な宅地開発を誘発しないよう道路の位置・構造の調整または沿道の土地利用規制を図る。
- 主な河川**
 - 治水機能の確保、都市用水の安定供給、水と緑豊かな水辺空間の保全と整備を図る。
- 主なレクリエーションの拠点（概ね10年以内に整備予定の都市公園）**
 - 特に自然の潤いが不足している市街地で緑地の整備を推進し、30%以上の緑地の確保を目指す。

都市計画区域

鉄道

注) 上記図は、都市計画区域マスタープランにおいて示した土地利用、都市施設、自然的環境の保全または整備に関する方針等を一枚にとりまとめた概念図である。